

三嶋大社 令和の大修理 ～祈りの杜、次代へ～

御 大 典 奉 祝 記 念 事 業
奉 賛 募 金 趣 意 書

三島神祇千古存

威稜閃爍史蹟尊

郷辺澤遍殷盛齊

富岳嶮与護和魂



上記の漢詩は、明治時代に活躍した漢学者和田南海による『三嶋神社』の七言絶句で、「三島の神祇
千古に存す 威稜閃爍史蹟尊し 郷辺澤遍くして殷盛を齊す 富岳の嶮と与に和魂を護らむ」と詠みます

三嶋大社 令和の大修理 ～祈りの杜、次代へ～

御大典奉祝記念事業

ご奉賛のお願い

三嶋大社は、天皇守護の八神に数えられる「事代主神」をお祀りすることから、皇室との御縁も殊に深く、且つ、国土開発経営の神・富士火山帯根源の神としてお祀りする「大山祇命」は殖産振興の御神徳も高く、古来日本総鎮守と称され、東海一の由緒ある『国利民福』のお社として広く信仰されております。

当大社の御社殿は、中古以来、およそ八百年余の間に御造営が十七度、御修復が七度と記録を見るだけでも都合二十四度の大事業が重ねられてまいりました。

現在の御社殿は、慶應二年（1866年）の竣功で、大正後期と昭和初期の二度に亘る御修復を経て、平成十二年（2000年）には重要文化財の指定を受けましたが、多年風雨に晒されたお屋根の傷みが著しく、銅板の葺き替え時期を迎えております。この際、耐震調査を併せて行い、防災機能の強化等を含めた葺き替え工事を行わせて頂きたい存じます。

また、劣化が激しい境内周囲の玉垣改修を主とした社叢の景観整備事業や、当大社旧蔵の至宝「三鱗紋兵庫鎖太刀（伝北條時政奉納）」及び「沃懸地群鳥文兵庫鎖太刀（伝関東管領上杉氏奉納）」[いずれも東京国立博物館所蔵]を復元調製し、令和の御神宝として大前に奉獻するなどの事業を計画致しております。

令和の大御代を迎え、聖寿の万歳と皇室の弥栄を祈念し、先人たちの尊い信仰と歴史を受け継ぎ、後世に守り伝えてゆくために、神社百年の大計に立つ重要な記念事業であります。

本事業の歴史的意義を御賢察頂き、広く氏子崇敬者の皆様の御奉賛を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

三嶋大社 宮司 矢田部盛男

御挨拶

このたび、因らずも『御大典奉祝記念事業』奉賛募金委員会 会長の大任を仰せ付けられましたが、もとより力量、見識に乏しい身、奉賛募金委員会の運営発展の重大性を考えますと、到底その任ではありませんが、皆様方のお力添えを賜り、本事業完遂に微力を尽くす覚悟であります。

今回三嶋大社が令和の大御代を慶賀し、その奉祝記念事業として社殿群のお屋根葺き替えを含めた耐震化による修復、当大社旧蔵の北條太刀・上杉太刀二口の復元奉納、玉垣改修等の境内整備を計画されたことは、誠に時宜を得たものと、満腔の敬意と賛意を表する次第であります。

古来東海一の名社として、伊豆をはじめ全国各地からご崇敬が寄せられ、多くの参拝者を迎えるご社頭を拝しますとき、三嶋大明神様ご神威の廣大無辺なる尊さを痛感致すのであります。

その氏子崇敬者の皆様方がご神徳を直接戴く御社殿のご修復をはじめとする様々な諸事業でありますので、幅広い力を集結し大明神様のご神慮に叶うよう報恩感謝の誠を尽すことが、常日頃のご神恩にお応えする大切な務めであり、無上の喜びと深く心に期し、諸事業完遂の為、奉賛募金活動に誠意を以て御奉仕することを、ご神前にお誓い申し上げたく存じます。

つきましては、氏子崇敬者の皆様方には諸事ご多端の折柄と恐縮に存じますが、何卒趣旨にご賛同いただき、一致団結して目標達成のため、ご奉賛賜りますよう偏にお願い申し上げます。

三嶋大社御大典奉祝記念事業奉賛募金委員会 会長 稲田精治

天皇陛下御即位を奉祝する、三嶋大社3つの事業

1、御社殿の改修事業

慶應2年（1866年）の竣功で、大正後期と昭和初期の2度に亘り修復された本殿・幣殿・拝殿等の御社殿屋根の銅板は老朽化が著しく、緊急性を要する修繕箇所が多数生じています。今般の記念事業では、銅板屋根の葺き替え工事を始め、銚り金具の修繕、消防設備の更新、また、現状調査を踏まえた耐震補強工事等を行い、貴重な建物の維持保存を図ります。令和10年の新春には修復が終わり、本殿遷座祭が斎行されます。



修復された舞殿とこれから修復される本殿・幣殿・拝殿

2、境内の整備事業

昭和42年（1967年）に設置された境内周囲の玉垣は、経年劣化により腐食が進み、応急処置を施しています。これを耐震性に優れた新たなものに改修し、併せて御神域の尊厳護持を図るべく三島市指定天然記念物でもある「三嶋大社の社叢」の景観整備工事を行い、三嶋大社を訪れる参拝者の皆様方に心地よい環境をつくるべく努めてまいります。



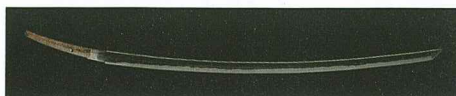
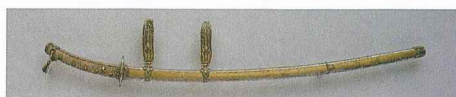
改修された玉垣（手前）とこれから改修される玉垣（奥）

3、御神宝の奉製事業

当大社旧所蔵の至宝（現 東京国立博物館所蔵）で、北條時政が奉納したと伝えられる「三鱗紋兵庫鎖太刀（鎌倉時代作）」、関東管領上杉氏が奉納したと伝えられる「沃懸地群鳥文兵庫鎖太刀（鎌倉時代作）」二口を復元奉製のうえ、令和の大御代に相応しい御神宝として大前に奉獻し、愈々の御神域の発揚と御社頭の隆昌に努めてまいります。



重要文化財 三鱗紋兵庫鎖太刀（北条太刀）
現東京国立博物館所蔵 旧三嶋大社宝物
写真：ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)



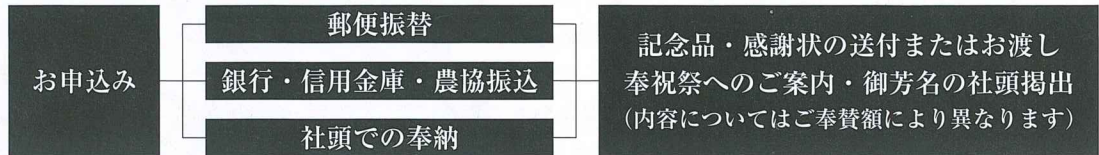
国宝 群鳥文兵庫鎖太刀（上杉太刀）
現東京国立博物館所蔵 旧三嶋大社宝物
写真：ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

三嶋大社御大典奉祝記念事業にあたり、奉賛募金に御協力をお願い申し上げます。

【事業概要】

募財期間 令和4年1月1日より令和9年12月31日まで
 総事業費 15億円
 募財目標額 3億円

【ご奉賛のお申し込みおよび払い込み方法】



- 奉賛金の納入方法は一括又は分割のいずれでも結構です。
 複数回に亘る御奉賛も承ります。(令和9年12月末迄)
- 社頭でのご奉賛は、社務所・客殿にて毎日受付致します。(受付時間 午前9時～午後4時)
- 銀行・郵便振替でのご奉賛は、添付の振り込み用紙をご利用下さい。
- 申込書の必要事項は必ず楷書で丁寧に御記入下さい。
 特にお名前は御神前にご奉賛の旨を奉告致しますので、フリガナを必ずお書き添え下さい。
- ご奉賛の個人情報は大切に管理し、奉賛者名簿の作成、当社よりの諸案内に使用させていただきます。
- その他、ご不明な点は、奉賛募金委員会事務局へお問い合わせ下さい。

《お願い》

このたびの御大典奉祝記念事業のご依頼が重複致した場合、また、すでに本事業にご奉賛頂いており、本状が行き違いとなりました際には、何卒 御寛容のほどお願い申し上げます。

【ご奉賛いただいた方への待遇】

奉賛金額	五千円以上	壹万円以上	貳万円以上	参万円以上	五万円以上	壹拾万円以上	貳拾万円以上	五拾万円以上	壹百万円以上	参百万円以上	五百万円以上
挨拶状	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
記念品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
感謝状				○	○	○	○	○	○	○	○
奉祝案内						○	○	○	○	○	○
社頭掲出御芳名								○	○	○	○